

モータースポーツ顕彰決定のご案内

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)は、2018年度のモータースポーツ顕彰を決定いたしましたので、ご案内いたします。
鈴鹿サーキットでは1987年よりモータースポーツの発展、振興、ならびにファン拡大につながる顕著な活躍、活動、功績を残された個人、団体を対象にモータースポーツ顕彰を、また大きな活躍が期待される個人を対象にライジングスターアワードを設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2018年度も東京運動記者クラブモータースポーツ分科会、JMS(日本モータースポーツ記者会)、JRPA(日本レース写真家協会)、ロードレース記者会の皆様のご協力のもとに表彰者、団体を選出し、顕彰を決定いたしました。

なお、受賞者の皆様は2019年3月3日(日)、「モースポフェス2019 SUZUKA～モータースポーツファン感謝デー～」で行われる贈呈式に出席いただく予定です。

■2018年モータースポーツ顕彰 (2018年に顕著な活躍をされた個人・団体など)



山本 尚貴

全日本スーパーフォーミュラ選手権では、鈴鹿サーキットで開催された開幕戦、最終戦を含む3戦で優勝を飾り、2013年以来のシリーズチャンピオンを獲得。SUPER GTシリーズでも鈴鹿大会での2位を含みシーズンを通して活躍し、GT500クラスのドライバーズタイトルを獲得した。

■2018年モータースポーツ特別顕彰 (2018年に特別な活躍をされた個人・団体など)

TOYOTA GAZOO Racing

世界三大レースのひとつとされるル・マン24時間(WEC)で、中嶋一貴/セバスチャン・ブエミ/フェルナンド・アロンソ組がポール・トゥ・ウィンで優勝、ル・マン史上初めての、日本人ドライバーと日本の自動車メーカーによる総合優勝を達成した。



F.C.C. TSR Honda France

2017-2018世界耐久選手権(EWC)に参戦。第2戦ル・マン24時間では、日本チームとして初となる優勝を飾った。また、ランキングトップで迎えたシーズン最終戦“コカ・コーラ”鈴鹿8耐では、安定した走りを見せ5位に入り、日本チームとして初となる同シリーズのチャンピオンとなった。



■2018年モータースポーツ功労顕彰 (長年にわたり、モータースポーツの発展に貢献された個人・団体など) 該当なし

■2019年ライジングスターアワード・4輪 (2018年の活躍と2019年にさらなる活躍が期待される4輪選手)



角田 裕毅 (つのだ ゆうき)

(2000年5月11日生まれ 18歳)

2017年よりFIA-F4選手権に参戦。2018年は、鈴鹿サーキットで開催された第5戦/第6戦の連勝を含み、全14戦中7戦で優勝を飾る活躍を見せ、シリーズチャンピオンに輝いた。

2019年は、F1のサポートレースとしてヨーロッパを中心に開催されるFIA Formula 3 Championshipへのフル参戦が決定し、次世代の4輪レース界を背負う選手として期待を集めている。

■2019年ライジングスターアワード・2輪 (2018年の活躍と2019年にさらなる活躍が期待される2輪選手)



荒川 晃大 (あらかわ こうた)

(2002年11月15日生まれ 16歳)

2018鈴鹿サンデーロードレース NAT ST600クラスにおいて、10代の選手では史上初となる全戦ポール・トゥ・ウィンで、シリーズチャンピオンに輝いた。また、初参戦した鈴鹿4時間耐久ロードレースでは、5位入賞を果たした。

2019年は、全日本ロードレース選手権 (ST600クラス) へのステップアップが決定しており、今後のさらなる活躍が期待される。

※年齢は2019年1月18日現在

当顕彰の贈呈式が行われる「モースポフェス2019 SUZUKA ~モータースポーツファン感謝デー~」への特別無料ご招待券を、ホームページにてダウンロードいただけます
 <ゆうえんちモトピアパスポートが割引になるクーポン券付>
 詳細は鈴鹿サーキット公式ウェブサイトをご覧ください。 https://www.suzukacircuit.jp/msfan_s/